

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

木材の需要と供給を通じ、森林保全及び、社会環境の向上に貢献致します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	木材利用の地盤改良工事によるCO2の削減	年間1000棟施工しており、年間約1万tのCO2の削減に貢献する。この削減数値を3年間継続させる。
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	インターンシップでの生徒の受け入れ	学生の方に職場体験として2026年までにインターンシップで10名受け入れる。
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	中途採用の取り組み 定年後も再雇用できるよう、高齢の方でも安全に働ける職場作り	何歳の方でも安全に働ける環境づくりをし、2026年までに合計10名の採用を目指す。

<パートナーシップ>

環境パイル工法協会、ハウスメーカー各社で協力し、地盤改良工事を木質資源に置換していくことで、CO2の削減と未利用木材の利用・開発の促進を図る。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	・木材利用の地盤改良工事によるCO2の削減 地盤改良工事でのCO2の削減に取り組んだ。 全体の住宅着工件数が減少しており、見込みに対して差異が出たことから目標未達成となった。	年間1000棟施工しており、年間約1万tのCO2の削減に貢献します。この削減数値を3年間継続させます。	2023年8390t
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	・天然木を活用した緩衝材の製造・販売 養蜂・栽培等されている会社へ販売し目標達成できた。	現在プラスチックの緩衝材を使用している企業に積極的に販売し、脱プラスチックを目指す	2023年88件
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	・中途採用の取り組み。定年後も再雇用できるよう、高齢の方でも安全に働ける職場作り。 環境整備活動を取り入れ、清潔で安全な職場づくりを行ったことで目標達成できた。	何歳の方でも安全に働ける環境づくりをし、2023年までに合計5名の採用を目指す	2023年までの合計14名

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。